

静銀、TKCが情報交換 中小支援へ連携強化



金融機関と税理士の連携強化に向けた
情報交換会＝23日午後、静岡市葵区

静岡銀行と税理士らでつくるTKC静岡会中部ブロックの情報交換会が23日、静岡市葵区のアゴラ静岡で開かれた。互いの取り組みを紹介し、非財務分野における連携のあり方や中小企業の支援活動について理解を深めた。

TKC静岡会は、企業の決算書や税務申告の作成を支援する「書面添付制度」の普及促進に力を入れている。

と説明。売上高や給与、資産など会計上の正確性を税理士が法に基づき証明しているため、添付書面の情報は金融機関での融資審査などにも活用できる可能性を示した。

静岡銀行の行員は国内外で広がりを見せるESG（環境・社会・統治）評価が企業取引の条件になりつつあると述べ、「取り組みを早く始めれば企業の利益に、先延ばしすればリスクになる」と指摘した。日本でも国際的に通用する独自の評価基準が求められているとし、ESGによる企業価値向上を支援する重要性を訴えた。